

全自交労連（全国自動車交通労働組合連合会）

【ご報告】

「危険なライドシェアを許さず 安全な公共交通を守る請願」 皆さまの思いの詰まった請願署名 22万917筆を国会に提出しました。



提出行動には、45人の国会議員が参加。危険なライドシェアの法制化阻止に向け、思いを一つにさせていただきました。

ハイタクフォーラム（全自交労連、交通労連ハイタク部会、私鉄総連ハイタク協議会）は、2月8日に「危険なライドシェアを許さず 安全な公共交通を守る請願」署名の提出行動を実施しました。

ライドシェア新法の危機を前に、過去最多となる22万917筆の署名（全自交11万8611筆、交通労連5万5574筆、私鉄総連4万6732筆）が全国から寄せられ、タクシー政策議員連盟に所属する国会議員を通じて衆参両議会へ提出されます。45人の国会議員が駆け付けて全員が発言し、ライドシェア新法阻止の意思を共有しました。

議連の辻元清美会長は「この迫力ある署名は、私たちの国会での闘いの後押しとなる。日本の社会を守る闘いです」と語っています。

安全、雇用、地域公共交通を破壊する『ライドシェア新法』を必ず阻止すべく、私たちは引き続き運動を強化してまいります。

多くのご賛同・ご協力に心より感謝いたします